

氏名： 白楽ロックビル (HAKLAK Rockbill)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
学位： 理学博士
職名： 教授
専門分野： バイオ政治学、生化学、細胞生物学
URL： <http://hayashi.bio.ocha.ac.jp/> / <http://haklak.com>
E-mail： prof_hayashi@hotmail.com

◆研究キーワード / Keywords

バイオ政治学／分子細胞生物学
Biopolitics / Molecular Cell Biology

◆主要業績

- ・白楽ロックビル (2007) 「ヨーロッパの日本人バイオ研究者⑥ 田中智之」、蛋白質 核酸 酵素、52, 77-84.
- ・白楽ロックビル (2007) 「ヨーロッパの日本人バイオ研究者⑦ シメレ恭子」、蛋白質 核酸 酵素、52, 174-182.
- ・白楽ロックビル (2007) 「ヨーロッパの日本人バイオ研究者⑧ 欧州旅行を終えて：欧州の台頭と大学の変化」、蛋白質 核酸 酵素、52, 271-278.
- ・白楽ロックビル (2007) 「ヨーロッパの日本人バイオ研究者⑨ 欧州旅行を終えて：エピソード編」、蛋白質 核酸 酵素、52, 373-380.
- ・白楽ロックビル (2007) 「法人化 四歩下がり 一步前進」、「特集：競争にさらされる大学」の1部、科学、77, 520.

◆研究内容 / Research Pursuits

海外の大学のバイオ研究者のあり方、バイオ関連の高等教育問題、キャリアパスを研究した。また、日本の研究者倫理に関する研究を行った。

◆教育内容 / Educational Pursuits

- 「現代生物学」
複数の現代バイオ研究者（例、ノーベル賞受賞者）の人生、研究キャリア、研究背景、研究内容を解説する。
- 「分子細胞生物学」
細胞接着一般論から、細胞接着分子、レセプター、細胞伸展、細胞移動などの分子細胞生物学。
- 「バイオ社会論」（林）
先端医療技術・先端バイオ研究の生命倫理問題を、宗教、道徳、法的規制、社会経済、人間の欲望との関連で学び考える。調査・口頭発表・質疑応答・評価の実践力を養う。
- バイオ研究者論
研究者になる道のハウツウで、学部生 → 大学院生 → 博士号 → ポスドク → 研究者のキャリアパスでの努力目標、重要なポイント、危険な点を解説するので、研究室の選びかたの参考にする。実験科学者以外の進路も解説する。海外留学をどう考えるか？

◆研究計画

バイオ政治学の基礎を確立し、その基礎の上に大きな展開をはかる。

◆メッセージ

バイオ政治学という魅力的で新しい学問を一緒に作りましょう。